

第2期総合戦略 令和3年度重要業績評価指標(KPI)実績一覧

基本目標/基本的方向	NO.	成果指標・重要業績評価指標(KPI)	出典・根拠	単位	現状値 (令和元年度)	目標値 (令和7年度)	実績値 (令和3年度)	コロナ	目標値 (令和3年度)	進捗率 (%)	進捗状況 (A~D)	分野別 平均 進捗率	分野別 進捗状況 (A~D)	事業評価(資料3) 該当番号	成果	課題・方向性	回答課			
基本目標1 豊かな地域をつくとともに、安心して働けるようにする	1	従業員1人当たりの付加価値額	工業統計調査	万円	1,198 (H30年度)	1,230	-		-	-	-	-	-	整理番号 1~15	-	-	商工課			
		就職率	館林市統計書	%	7.6	9.0	-		-	-	-	-	-		-	-	-	商工課		
【基本的方向1】「産業」	1-1	新規産業団地などの造成	産業政策課	ha	-	56.2	-		-	-	-	0%	D	整理番号 1~5	環境アセスメントが開始となり、関係機関と協議を重ね、現状での最短スケジュールで事業を進めている。個別地権者交渉による同意率の向上、地権者会の設立準備を行った。	継続して環境アセスメントの進捗確認を行う。地権者会と協力して同意率100%を目指していく。	産業政策課			
	1-2	企業立地及び設備投資件数	工業統計調査・商工課	件	4	累計20	0		4	0%	D					新規立地件数は0件。企業が立地する空き用地が無い状況である。	新たに本市への立地及び既存企業で拡張を望む企業のニーズ把握が必要。新規団地の動向も踏まえ、各種支援を通じ優遇措置の検討を進める。	商工課		
【基本的方向2】「商業」	1-3	既存商店店舗診断の件数	商工課	件	2	累計15	1		3	33%	D	83%	B	整理番号 6~9	中小企業診断士が申込店舗の経営診断を行い、状況に応じたアドバイスを行った。	申込店舗を増やし、市内店舗の経営継続に向けた支援を行う。	商工課			
	1-4	遊休不動産の利活用件数	商工課	件	2	累計15	4		3	133%	A							遊休不動産を改装し店舗として活用したほか、イベント開催によって利活用を行った。	空き店舗等の遊休不動産を改装し、活用されるかたを支援することで経済活動を維持していく。	商工課
	1-5	小売業・卸売業の1店舗当たりの年間商品販売額	経済センサス	百万円	337 (H28年度)	340	-		-	-	-							-	-	商工課
【基本的方向3】「労働環境」	1-6	企業ガイダンス参加者数	商工課	人	507 (H30年度)	累計2,500	300	○	500	60%	C	78%	C	整理番号 10	参加企業18社、ガイダンス参加者106アカウント約300人となった。コロナ禍でオンラインでの開催となったが、地元企業を知ってもらいきっかけとなった。	コロナ禍での開催方法の検討が必要である。今後も地元企業とのマッチングに努める。	商工課			
	1-7	Uターン支援奨励金の受給労働者数	商工課	人	46	累計200	38		40	95%	B							12社38人の利用があった。地元企業が求める人材の確保及び地域の活性化につながった。	今後も周知が必要。移住者支援と共に雇用と連携した定住支援を進める。	商工課
【基本的方向4】「農業」	1-8	担い手の農地利用集積状況	農業振興課 農業委員会	%	58.2	65.0	62.5		60.5	187%	A	110%	A	整理番号 11~15	担い手の農地利用集積状況は、年度目標を上回っている。達成要因は、農地利用の最適化の促進によるところが大きい。	農業従事者の高齢化や後継者不足により遊休農地の増加が予想されるが、引き続き、農地利用の最適化の促進を図る。	農業振興課 農業委員会事務局			
	1-9	農業産出額	農林水産省	億円	59.5 (H30年度)	61	55.4		60	0%	D							農産物出荷額は年度目標を下回っている。未達成の要因は、畜産部門における肉用牛価格及び生乳産出額の減少によるものと思われる。	農業従事者の高齢化や後継者不足により畜産農家は減少しているが、引き続き、畜産振興対策事業の各種政策を通じて支援を行う。	農業振興課
	1-10	農用地利用集積面積	農業委員会	ha	840	1,020	925		900	142%	A							担い手の農地利用集積状況は、年度目標を上回っている。達成要因は、農地利用の最適化の促進によるところが大きい。	農業従事者の高齢化や後継者不足により遊休農地の増加が予想されるが、引き続き、農地利用の最適化の促進を図る。	農業委員会事務局
基本目標2 本市とのつながりを築き、新しい人の流れをつくる	2	社会増減数	群馬県移動人口調査	人	△ 48	△ 22	70		△ 39	1362%	A	1362%	A	整理番号 16~27	-	-	企画課			
【基本的方向1】「観光」	2-1	観光入込客数	つつじのまち観光課	人	1,489,539	1,650,000	553,631	○	1,541,220	0%	D	32%	D	整理番号 16~19	新型コロナウイルス感染症の影響により、各種イベントなどが中止となり、観光入込客数が減少した。	新型コロナウイルス感染症の収束を見込み、観光入込客につながる各種イベントを企画し、開催する。	つつじのまち観光課			
	2-2	つつじまつり入園者数	つつじのまち観光課	人	129,242	140,000	62,283	○	65,000	96%	B							新型コロナウイルス感染症の影響により、入園者が減少した。	新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、入園料等による自主財源の確保及び地元経済の活性化に繋げる。	つつじのまち観光課
	2-3	観光ボランティアガイドの登録者数	つつじのまち観光課	人	65	80	56	○	70	0%	D							新型コロナウイルス感染症の影響により、観光スポットを案内する機会が減ったため、登録者数も減少した。	観光客等からの要請により、観光ボランティアが活躍できるよう、ボランティアの会の育成・支援を行う。	つつじのまち観光課

第2期総合戦略 令和3年度重要業績評価指標(KPI)実績一覧

基本目標／基本的方向	NO.	成果指標・重要業績評価指標(KPI)	出典・根拠	単位	現状値 (令和元年度)	目標値 (令和7年度)	実績値 (令和3年度)	コロナ	目標値 (令和3年度)	進捗率 (%)	進捗状況 (A～D)	分野別 平均 進捗率	分野別 進捗状況 (A～D)	事業評価(資料3) 該当番号	成果	課題・方向性	回答課
【基本的方向2】「まちのにぎわい」	2-4	遊休不動産の利活用件数(再掲)	商工課	件	2	累計15	4		3	133%	A	193%	A	整理番号 20～26	遊休不動産を改装し店舗として活用したほか、イベント開催によって、利活用を行った。	空き店舗等の遊休不動産を改装し、利活用されるかたを支援することで経済活動を維持していく。	商工課
	2-5	移住定住の相談人数	企画課	人	27	累計150	27	○	30	90%	B				現在は新型コロナウイルス感染症の影響により非対面での相談が主流となっており、全てオンラインによる相談となっている。 【内訳】 移住相談会等における相談 6件 メールや電話等による相談 21件	PR活動(相談会等)がオンライン化したことから、回数としては目標値を大きく上回ったものの、参加者が0人という相談会もあった。これは、以前までは東京都内で群馬県全体の相談会を開催するなど、群馬県への移住に興味があるかたを広くターゲットとできたが、オンラインの場合は対面イベントと比べて参加のハードルが高く、また個々の市町村の知名度などが求められることが原因と考えられる。このことから、まずは本市を相談の対象として選んでいただけるよう、移住定住も含め、様々な角度から本市の魅力(PR)していく。	企画課
	2-6	東京都でのPR活動回数	企画課	回	2	累計10	8	○	2	400%	A				PR活動(相談会等)を8回行ったが、いずれもオンライン開催となっている。 ※新型コロナウイルス感染症の影響により、非対面での相談が主流となっていることから、オンライン開催のイベント等も実績としてカウントしている。	PR活動(相談会等)がオンライン化したことから、回数としては目標値を大きく上回ったものの、参加者が0人という相談会もあった。これは、以前までは東京都内で群馬県全体の相談会を開催するなど、群馬県への移住に興味があるかたを広くターゲットとできたが、オンラインの場合は対面イベントと比べて参加のハードルが高く、また個々の市町村の知名度などが求められることが原因と考えられる。このことから、まずは本市を相談の対象として選んでいただけるよう、移住定住も含め、様々な角度から本市の魅力(PR)していく。	企画課
	2-7	空き家バンク登録物件利活用件数	企画課	件	2	累計20	6		4	150%	A				令和3年度の利活用件数は6件と、例年と比べて大幅に増えている。理由としては、うち4件が転入者となっていることから、移住を考えているかたにニーズがある。	利活用推進のためには、まずは空き家バンクの登録物件を増やす必要がある。令和3年度には空き家所有者にアンケートを行ったため、利活用の希望がある所有者に対し、バンクへの登録を促していく。また、市内の不動産会社に働きかけるなどして、登録物件を増やしていく。	企画課
【基本的方向3】「情報の共有」	2-8	ホームページへのアクセス数	秘書課	件	2,509,601	4,015,361	6,083,703		3,011,521	712%	A	466%	A	整理番号 27	令和3年度のホームページへのアクセス数は、年度目標値(3,011,521件)を上回るとともに、既に令和7年度目標値にも達している。要因としては、新型コロナウイルス感染症の影響により、情報を求めるかたからのアクセスが大きく伸びたものと考えられる。	時間に制約されることなく閲覧することができホームページは、市民など利用者にとって利便性の向上に寄与する情報提供手段である。分かりやすいページ作りのほか、早く、正確な情報の提供に努めていく。	秘書課
	2-9	SNSのフォロワー数	秘書課	人	1,520	4,520	3,721		2,520	220%	A				令和3年度のSNS(ツイッター)のフォロワー数は、年度目標値(2,520人)を上回った。要因としては、市政や催し物、新型コロナウイルス感染症に関する情報など、新しい情報をいち早く受け取りたいかたからの登録が進んだものと思われる。	フォロワー数を増やすためには、有益な情報をタイムリーに発信していく必要がある。ツイッターには文字数制限があるため、市ホームページなどの媒体と連動させながら運用していく。	秘書課
基本目標3 結婚・出産・子育ての希望をかなえる	3	合計特殊出生率	群馬県人口動態調査	—	1.19	1.6	—		—	—	—	—	—	整理番号 28～31	—	—	企画課
		婚姻数	群馬県人口動態調査	件	315	360	—		—	—	—				—	—	—

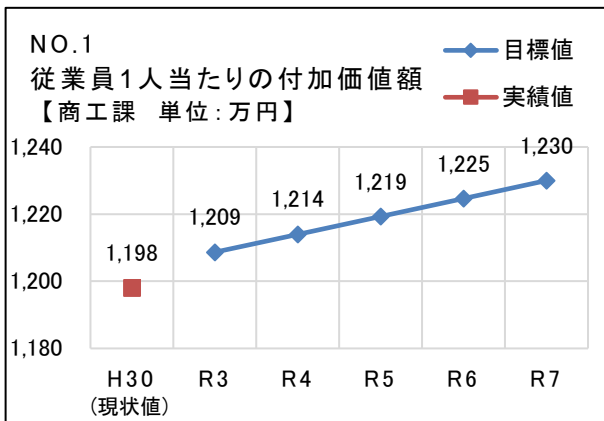
第2期総合戦略 令和3年度重要業績評価指標(KPI)実績一覧

基本目標／基本的方向	NO.	成果指標・重要業績評価指標(KPI)	出典・根拠	単位	現状値 (令和元年度)	目標値 (令和7年度)	実績値 (令和3年度)	コロナ	目標値 (令和3年度)	進捗率 (%)	進捗状況 (A～D)	分野別 平均 進捗率	分野別 進捗状況 (A～D)	事業評価(資料3) 該当番号	成果	課題・方向性	回答課
【基本的方向1】「まちのにぎわい」	3-1	市の支援による婚活イベント参加者数	企画課・市民協働課	人	65	累計445	0	○	89	0%	D	10%	D	整理番号 28	婚活イベントが1件実施予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて中止となったため、令和3年度の開催実績はない。	今後は、対面のほか、オンラインでの婚活イベントや若い世代に向けた結婚に関するライフデザインの実施など、イベントに付加価値をつけて参加者数の増加を図る必要がある。 また、社会福祉協議会や婚活応援支援員と連携し、コロナ禍の状況でもニーズにあった事業を展開することで相談登録者確保に繋げ、婚活支援を継続していく。	企画課 市民協働課
	3-2	市の支援による婚活事業でのカップル成立数	企画課・市民協働課	組	5	累計50	2	○	10	20%	D				婚活イベントが1件実施予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて中止となったため、令和3年度の開催実績はない。 しかし、事業中止の期間中、社会福祉協議会や婚活応援支援員と連携し、婚活事業の周知を行うことで、コロナ禍においても相談登録者の確保とカップル成立に繋げることができた。	今後は、対面のほか、オンラインでの婚活イベントや若い世代に向けた結婚に関するライフデザインの実施など、イベントに付加価値をつけて参加者数の増加を図る必要がある。 また、社会福祉協議会や婚活応援支援員と連携し、コロナ禍の状況でもニーズにあった事業を展開することで相談登録者確保に繋げ、婚活支援を継続していく。	企画課 市民協働課
【基本的方向2】「子育て」	3-3	ファミリー・サポート・センターの延べ登録者数	子育て支援課	人	345	645	371		445	26%	D	70%	C	整理番号 29～31	継続的にチラシやホームページ等で事業内容を周知するとともに、保育園及び幼稚園において制度説明会を開催した。	課題としては、「まかせて会員」の不足によりサービスの提供不足にならないよう引き続き「まかせて会員」の養成に努める。 方向性としては、現在の預かりの内容が送迎等が主になっているが、本来は健康児はじめ病児・病後児、障がい児等の保育をメインとした要望にも応えられるようファミリー・サポート・センターの更なる充実に努める。	子育て支援課
	3-4	病児・病後児保育事業の登録者数	こども課	人	227	403	336		286	185%	A				基準年度と比較し、大幅に登録者数が増加している。病児・病後児保育の実施により、急病時に対応を必要とする保護者の子育て支援を図ることができた。	引き続き、保育施設入園等に事業の周知を働きかけ利用登録を促進し、病児・病後児保育を必要とする保護者の子育て支援を図る。	こども課
	3-5	子育て支援モバイルサービス登録率	健康推進課	%	61.8	67.8	58.3		63.8	0%	D				新型コロナウイルス感染症予防対策として、妊娠届出や新生児訪問の面接時間を短縮したため十分な説明ができず、年々増加傾向にあった登録率が今年度は低下してしまった。	妊娠届出時や新生児訪問時等に登録勧奨を行っているが、特に妊娠中は登録の必要性や有効性を感じにくく、登録を各自でお願いすると、仕事や育児等で日々多忙な中で登録に至らない場合が多い。そのため、妊娠届出時や家庭訪問時に実際の登録作業の補助を行い、積極的な登録の勧奨を行う。	健康推進課
基本目標4 人が集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる	4	住みよさランキング	都市データパック(東洋経済)	位	287	200位以内	262		258	86%	B	86%	B	整理番号 32～45	-	-	企画課
【基本的方向1】「防災」	4-1	自主防災組織の組織率	安全安心課	%	92.4	100	92.4		95	0%	D	0%	D	整理番号 32～37	なし	各地区において自主的な防災活動が行われるよう、地区防災計画策定の支援を行うことなどにより、行政区による自主防災組織設置の動機づけをし、設置率の向上に努めていく。	安全安心課
【基本的方向2】「道路・交通」	4-2	交通事故発生件数	館林警察署	件	283	280	281		282	200%	A	100%	A	整理番号 38～39	交通事故防止のため、関係機関と連携し啓発活動を実施するとともに、地域要望等に基づき、交通安全施設の整備・維持に努めた。	今後も引き続き関係機関と連携し啓発に取り組むとともに、交通安全施設整備の推進を図る。	安全安心課
	4-3	路線バスの年間利用者数	安全安心課	人	248,074	300,000	209,681	○	258,459	0%	D				館林都市圏地域公共交通計画に基づく路線再編の成果として、「茂林寺巡回線」を運行開始した。 利用促進事業としては、沿線高校への啓発チラシ配布をはじめ、乗り方教室の実施や、バスロケーションシステムの運用などを行った。	館林都市圏地域公共交通計画に基づく各種事業を推進することにより、暮らしに寄り添う交通ネットワークの構築に取り組み、利用者数の増加を目指す。	安全安心課

第2期総合戦略 令和3年度重要業績評価指標(KPI)実績一覧

基本目標／基本的方向	NO.	成果指標・重要業績評価指標(KPI)	出典・根拠	単位	現状値 (令和元年度)	目標値 (令和7年度)	実績値 (令和3年度)	コロナ	目標値 (令和3年度)	進捗率 (%)	進捗状況 (A～D)	分野別 平均 進捗率	分野別 進捗状況 (A～D)	事業評価(資料3) 該当番号	成果	課題・方向性	回答課
【基本的方向3】「文化」	4-4	芸術文化施設における市民1人当たりの年間利用回数	文化振興課	回	2.5	2.5	1.4	○	2.5	56%	C	61%	C	整理番号 40	緊急事態宣言等や群馬県警戒度の上昇などから利用定員を制限したことや、改修工事により一部施設の貸出を6か月間中止したことにより利用者数が減少したため、目標値に届かなかった。	芸術文化活動を推進するよう、老朽化した施設の維持管理が課題であり、安全安心な施設の利用のため、施設の長寿命化を図っていく。	文化振興課
	4-5	歴史文化施設における市民1人当たりの年間利用回数	文化振興課	回	0.3	0.3	0.2	○	0.3	67%	C				1年間の大半が新型コロナウイルス感染症の拡大による緊急事態宣言等の発令下にあったため、小中学校や公民館などによる団体利用が激減し、目標値に届かなかった。	更なる感染防止対策を講じて団体や遠方からの利用者を受け入れる。コロナ禍で利用者が少なくても、常に情報発信等を行い、事業のレベルを維持する。	文化振興課
【基本的方向4】「スポーツ」	4-6	スポーツ実施率 (週1回以上)	スポーツ振興課	%	31.3	50.0	49.6		37.5	295%	A	295%	A	整理番号 41	過年度の実施率を含め健康志向の関心の高さと各種スポーツ事業への参加意識の向上が見られる。また、老朽化が進む各スポーツ施設の継続的な維持管理の実施によって、利用者の安全性を重視した環境整備が図られている。	市民の体力の保持増進や健康志向の高まり、また地域づくりやコミュニケーション形成など、それぞれの目的に応じ取り組んでいるが、目標値には達していない状況である。 今後は、市民ニーズを取り入れた各種スポーツ体験教室、家族や団体が気軽に楽しめるレクリエーション大会等を実施するほか、利便性を考慮した各スポーツ施設の改修等により、よりスポーツに取り組みやすい環境を整備し、実施率を向上させていく必要がある。	スポーツ振興課
【基本的方向5】「行政活動」	4-7	ふるさと納税寄附金額	企画課	円	149,400,000	累計500,000,000	59,032,300		100,000,000	59%	C	59%	C	整理番号 42～45	既存返礼品の取扱終了等により目標を達成することは出来なかったが、新規返礼品の追加等により寄附件数が対前年度比で234%となるなど、着実に寄附の増進を図っている。	課題として、これまでふるさと納税ポータルサイトを1種類しか利用しておらず、全国の幅広い寄附者層にリーチできていない状況である。 今後の方向性として、ふるさと納税ポータルサイトの追加を行い、寄附額の増加を狙う。一方で、サイトの追加に伴い事務量の増加が予想されるが、業務代行委託を行うことにより効率的かつ正確に業務を遂行する。 また、必要に応じてクラウドファンディング型ふるさと納税を実施するなど、返礼品に依存しないふるさと納税本来のあり方も併せて追求していく。	企画課

基本目標1 豊かな地域をつくとともに、安心して働けるようにする

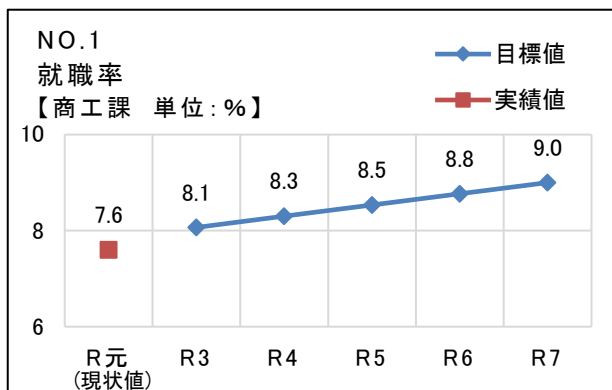


成果

※工業統計調査の令和3年度実績値が公表されていないため、データなし。

課題・方向性

-



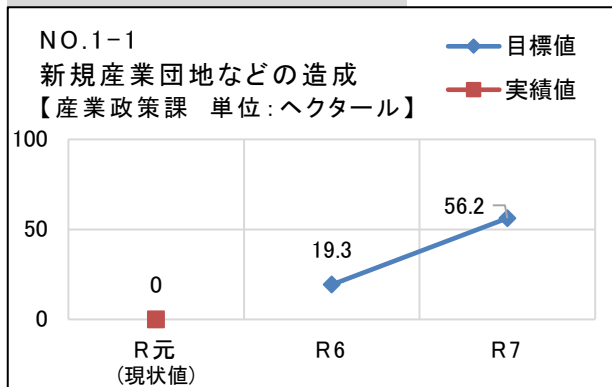
成果

※本市統計書において、令和3年度実績値が未集計のためデータなし。

課題・方向性

-

分野：産業

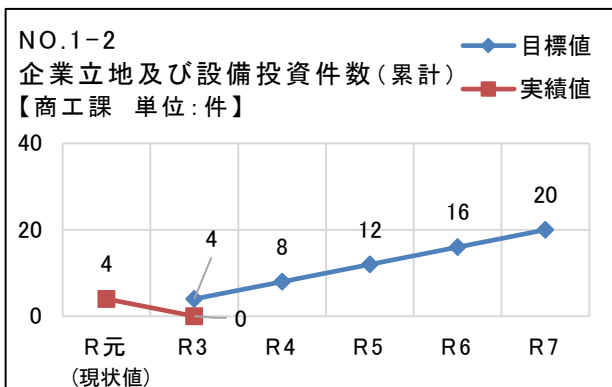


成果

環境アセスメントが開始となり、関係機関と協議を重ね、現状での最短スケジュールで事業を進めている。個別地権者交渉による同意率の向上、地権者会の設立準備を行った。

課題・方向性

継続して環境アセスメントの進捗確認を行う。地権者会と協力して同意率100%を目指していく。



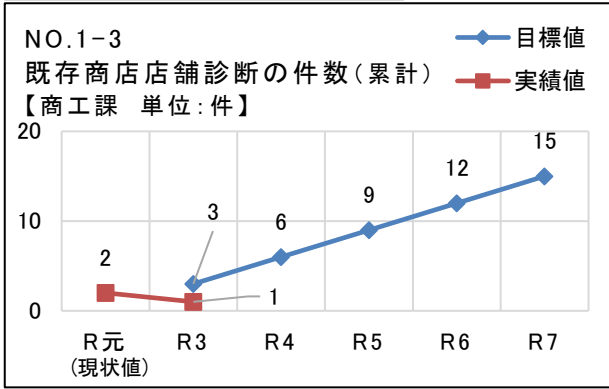
成果

新規立地件数は0件。企業が立地する空き用地が無い状況である。

課題・方向性

新たに本市への立地及び既存企業で拡張を望む企業のニーズ把握が必要。新規団地の動向も踏まえ、各種支援を通じ優遇措置の検討を進める。

分野：商業

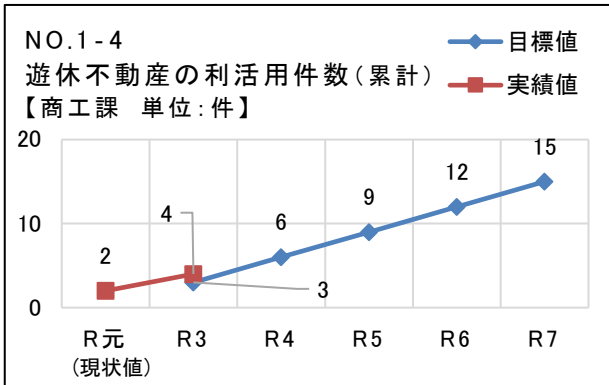


成果

中小企業診断士が申込店舗の経営診断を行い、状況に応じたアドバイスを行った。

課題・方向性

申込店舗を増やし、市内店舗の経営継続に向けた支援を行う。

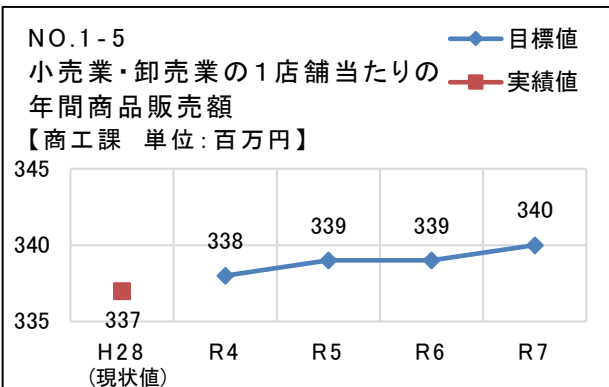


成果

遊休不動産を改装し店舗として活用したほか、イベント開催によって利活用を行った。

課題・方向性

空き店舗等の遊休不動産を改装し、利活用されるかたを支援することで経済活動を維持していく。



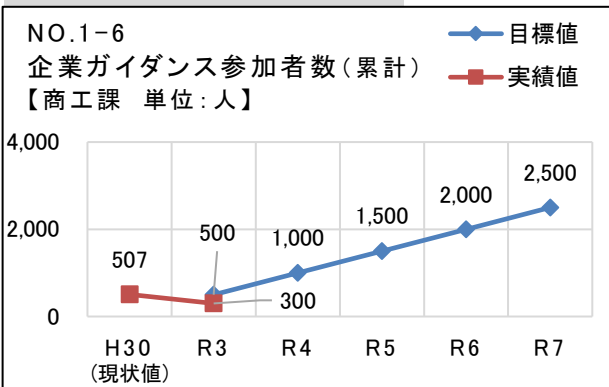
成果

※経済センサスの令和3年度実績値が公表されていないため、データなし。

課題・方向性

-

分野：労働環境

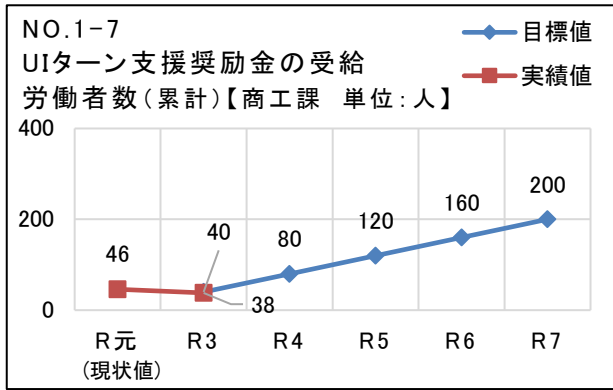


成果

参加企業18社、ガイダンス参加者106アカウント約300人となった。コロナ禍でオンラインでの開催となったが、地元企業を知ってもらうきっかけとなった。

課題・方向性

コロナ禍での開催方法の検討が必要である。今後も地元企業とのマッチングに努める。

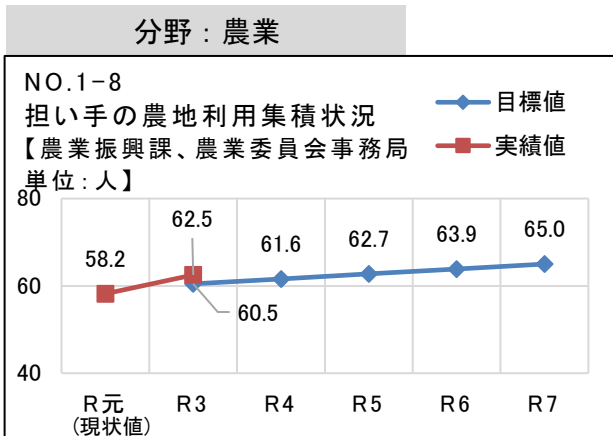


成果

12社38人の利用があった。地元企業が求める人材の確保及び地域の活性化につながった。

課題・方向性

今後も周知が必要。移住者支援と共に雇用と連携した定住支援を進める。

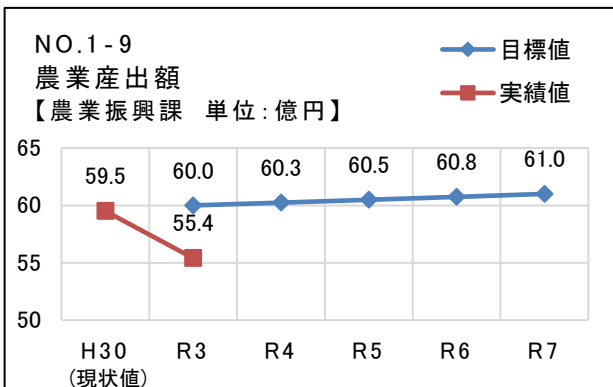


成果

担い手の農地利用集積状況は、年度目標を上回っている。達成要因は、農地利用の最適化の促進によるところが大きい。

課題・方向性

農業従事者の高齢化や後継者不足により遊休農地の増加が予想されるが、引き続き、農地利用の最適化の促進を図る。

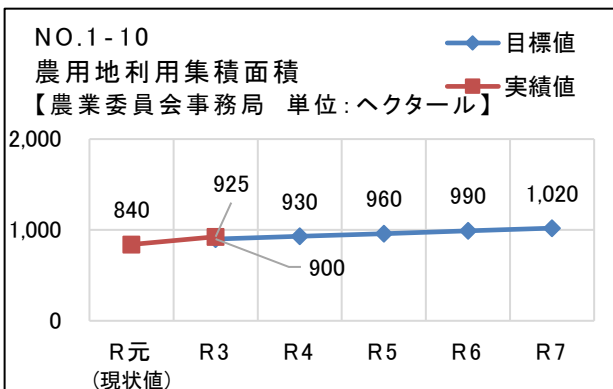


成果

農産物出荷額は年度目標を下回っている。未達成の要因は、畜産部門における肉用牛価格及び生乳産出額の減少によるものと思われる。

課題・方向性

農業従事者の高齢化や後継者不足により畜産農家数は減少しているが、引き続き、畜産振興対策事業の各種政策を通じて支援を行う。



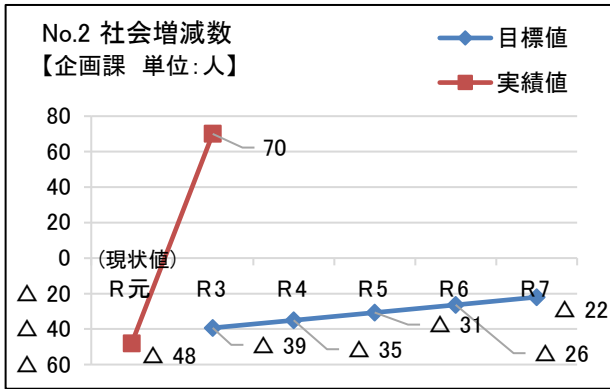
成果

担い手の農地利用集積状況は、年度目標を上回っている。達成要因は、農地利用の最適化の促進によるところが大きい。

課題・方向性

農業従事者の高齢化や後継者不足により遊休農地の増加が予想されるが、引き続き、農地利用の最適化の促進を図る。

基本目標2 本市とのつながりを築き、新しい人の流れをつくる

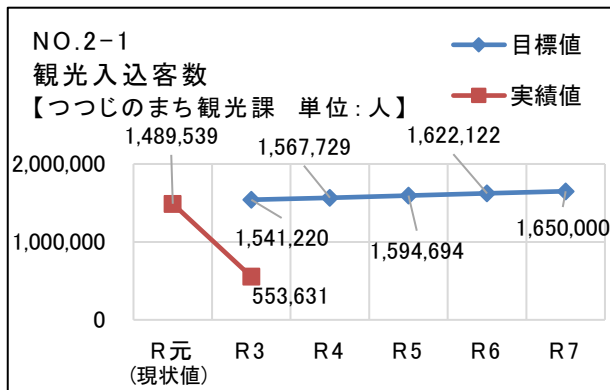


成果

令和元年度と比べ大幅に改善されており、プラスの数字となっている。一つの要因として、新型コロナウイルス感染症の影響による地方移住への関心の高まりが考えられる。

課題・方向性

-



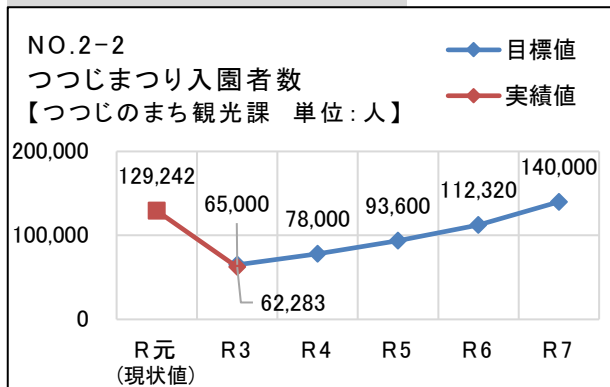
成果

新型コロナウイルス感染症の影響により、各種イベントなどが中止となり、観光入込客数が減少した。

課題・方向性

新型コロナウイルス感染症の収束を見込み、観光入込客につながる各種イベントを企画し、開催する。

分野：観光

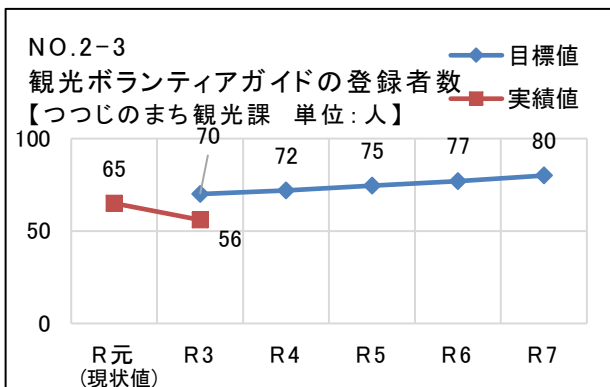


成果

新型コロナウイルス感染症の影響により、入園者が減少した。

課題・方向性

新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、入園料等による自主財源の確保及び地元経済の活性化に繋げる。



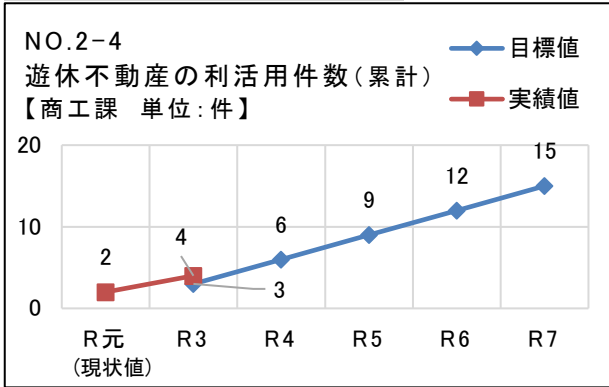
成果

新型コロナウイルス感染症の影響により、観光スポットを案内する機会が減ったため、登録者数も減少した。

課題・方向性

観光客等からの要請により、観光ボランティアが活躍できるよう、ボランティアの会の育成・支援を行う。

分野：まちのにぎわい

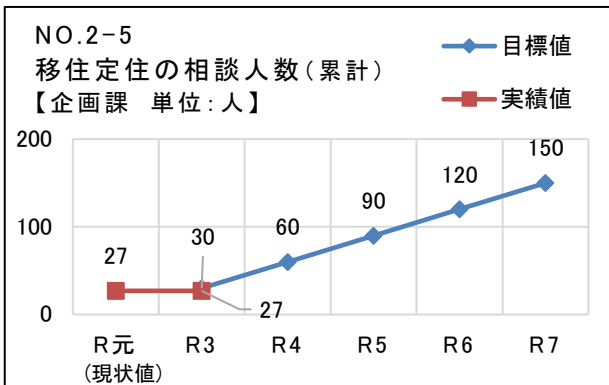


成果

遊休不動産を改装し店舗として活用したほか、イベント開催によって、利活用を行った。

課題・方向性

空き店舗等の遊休不動産を改装し、利活用されるかたを支援することで経済活動を維持していく。

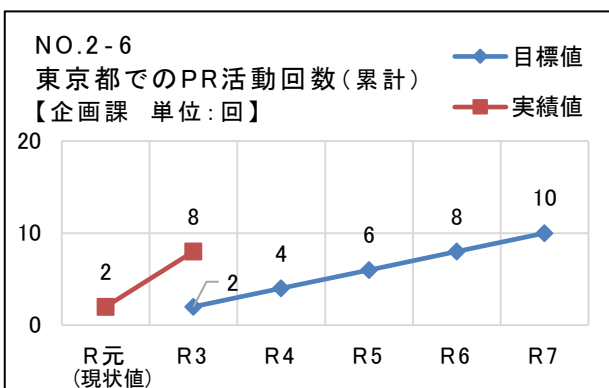


成果

現在は新型コロナウイルス感染症の影響により非対面での相談が主流となっており、全てオンラインによる相談となっている。

課題・方向性

PR活動(相談会等)がオンライン化したことから、回数としては目標値を大きく上回ったものの、参加者が0人という相談会もあった。これは、以前までは東京都内で群馬県全体の相談会を開催するなど、群馬県への移住に興味があるかたを広くターゲットとできたが、オンラインの場合は対面イベントと比べて参加のハードルが高く、また個々の市町村の知名度などが求められることが原因と考えられる。このことから、まずは本市を相談の対象として選んでいただけよう、移住定住も含め、様々な角度から本市の魅力のPRしていく。



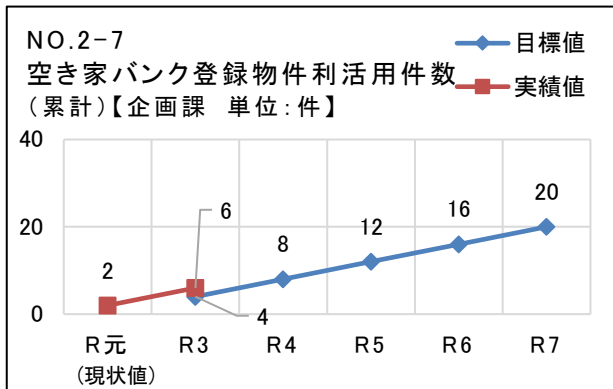
成果

PR活動(相談会等)を8回行ったが、いずれもオンライン開催となっている。

※新型コロナウイルス感染症の影響により、非対面での相談が主流となっていることから、オンライン開催のイベント等も実績としてカウントしている。

課題・方向性

PR活動(相談会等)がオンライン化したことから、回数としては目標値を大きく上回ったものの、参加者が0人という相談会もあった。これは、以前までは東京都内で群馬県全体の相談会を開催するなど、群馬県への移住に興味があるかたを広くターゲットとできたが、オンラインの場合は対面イベントと比べて参加のハードルが高く、また個々の市町村の知名度などが求められることが原因と考えられる。このことから、まずは本市を相談の対象として選んでいただけよう、移住定住も含め、様々な角度から本市の魅力のPRしていく。



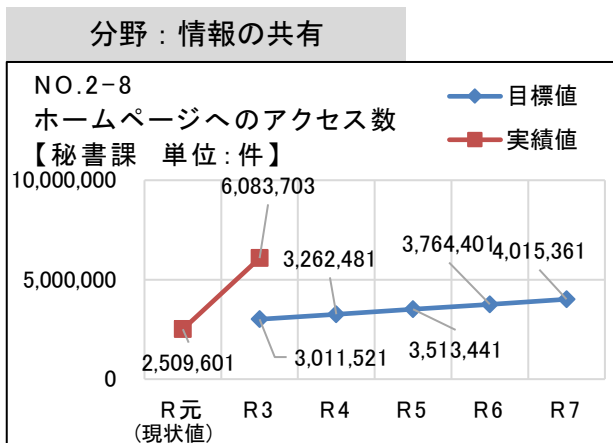
成果

令和3年度の利活用件数は6件と、例年と比べて大幅に増えている。理由としては、うち4件が転入者となっていることから、移住を考えているかたにニーズがある。

課題・方向性

利活用推進のためには、まずは空き家バンクの登録物件を増やす必要がある。令和3年度には空き家所有者にアンケートを行ったため、利活用の希望がある所有者に対し、バンクへの登録を促していく。

また、市内の不動産会社に働きかけるなどして、登録物件を増やしていく。

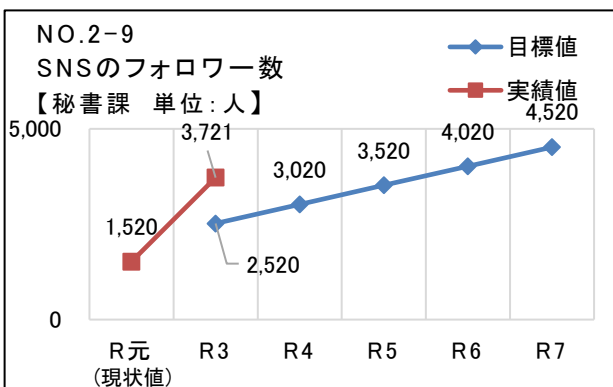


成果

令和3年度のホームページへのアクセス数は、年度目標値(3,011,521件)を上回るとともに、既に令和7年度目標値にも達している。要因としては、新型コロナウイルス感染症の影響により、情報を求めるかたからのアクセスが大きく伸びたものと考えられる。

課題・方向性

時間に制約されることなく閲覧することができるホームページは、市民など利用者にとって利便性の向上に寄与する情報提供手段である。分かりやすいページ作りのほか、早く、正確な情報の提供に努めていく。



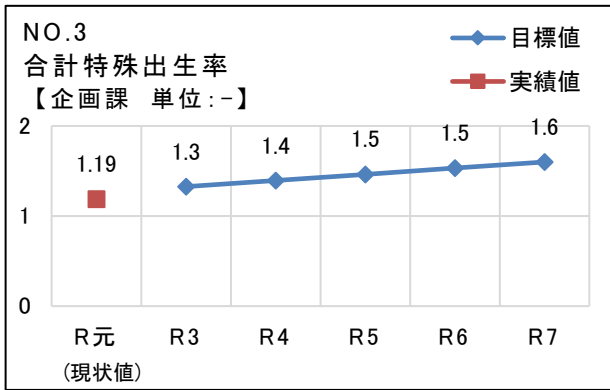
成果

令和3年度のSNS(ツイッター)のフォロワー数は、年度目標値(2,520人)を上回った。要因としては、市政や催し物、新型コロナウイルス感染症に関する情報など、新しい情報をいち早く受け取りたいかたからの登録が進んだものと思われる。

課題・方向性

フォロワー数を増やすためには、有益な情報をタイムリーに発信していく必要がある。ツイッターには文字数制限があるため、市ホームページなどの媒体と連動させながら運用していく。

基本目標3 結婚・出産・子育ての希望をかなえる

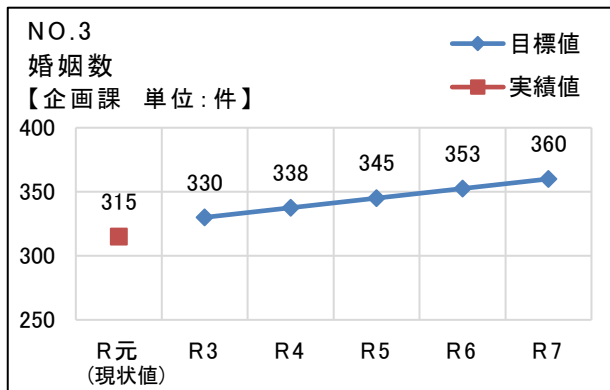


成果

※群馬県移動人口調査の令和3年度実績値が公表されていないため、データなし。

課題・方向性

-



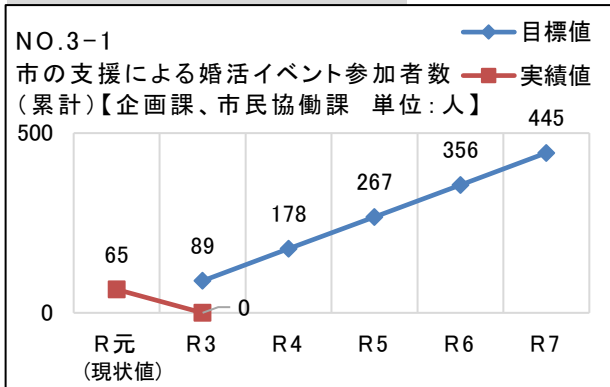
成果

※群馬県移動人口調査の令和3年度実績値が公表されていないため、データなし。

課題・方向性

-

分野：まちのにぎわい



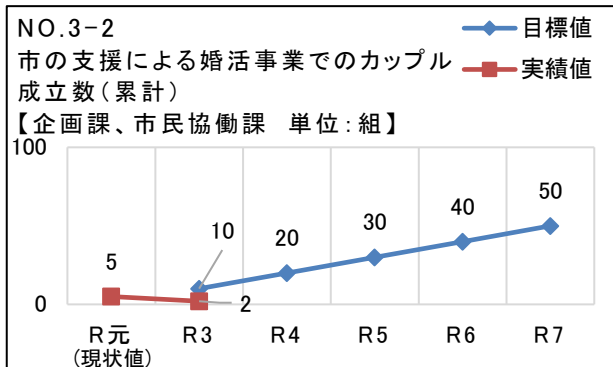
成果

婚活イベントが1件実施予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて中止となったため、令和3年度の開催実績はない。

課題・方向性

今後は、対面のほか、オンラインでの婚活イベントや若い世代に向けた結婚に関するライフデザインの実施など、イベントに付加価値をつけて参加者数の増加を図る必要がある。

また、社会福祉協議会や婚活応援支援員と連携し、コロナ禍の状況でもニーズにあった事業を展開することで相談登録者確保に繋げ、婚活支援を継続していく。



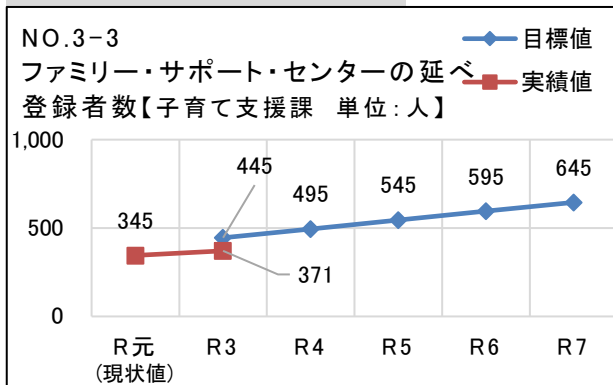
成果

婚活イベントが1件実施予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて中止となったため、令和3年度の開催実績はない。しかし、事業中止の期間中、社会福祉協議会や婚活応援支援員と連携し、婚活事業の周知を行うことで、コロナ禍においても相談登録者の確保とカップル成立に繋げることができた。

課題・方向性

今後は、対面のほか、オンラインでの婚活イベントや若い世代に向けた結婚に関するライフデザインの実施など、イベントに付加価値をつけて参加者数の増加を図る必要がある。また、社会福祉協議会や婚活応援支援員と連携し、コロナ禍の状況でもニーズにあった事業を展開することで相談登録者確保に繋げ、婚活支援を継続していく。

分野：子育て

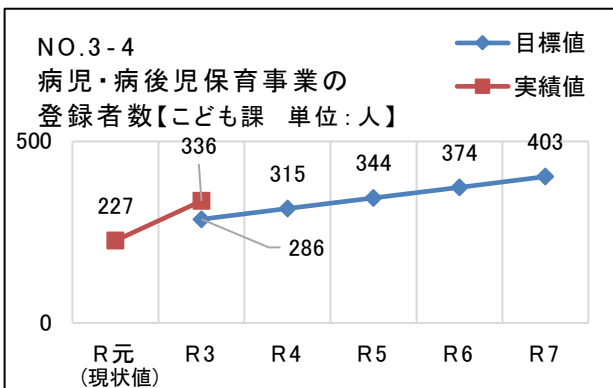


成果

継続的にチラシやホームページ等で事業内容を周知するとともに、保育園及び幼稚園において制度説明会を開催した。コロナ禍であっても、「まかせて会員養成講座」も開催し、新たな提供会員を養成することができ、会員数も増となった。

課題・方向性

課題としては、「まかせて会員」の不足によりサービスの提供不足にならないよう引き続き「まかせて会員」の養成に努める。方向性としては、現在の預かりの内容が送迎等が主になっているが、本来は健常児はじめ病児・病後児、障がい児等の保育をメインとした要望にも応えられるようファミリー・サポート・センターの更なる充実に努める。

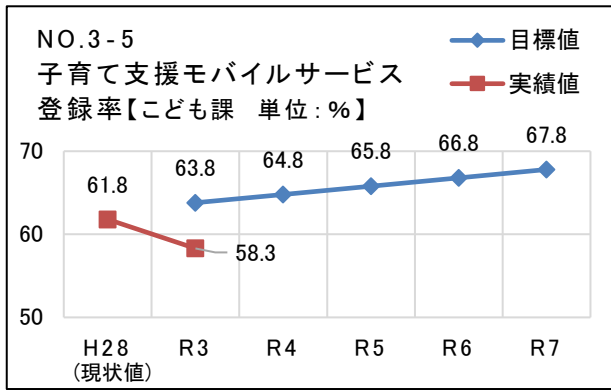


成果

基準年度と比較し、大幅に登録者数が増加している。病児・病後児保育の実施により、急病時に対応を必要とする保護者の子育て支援を図ることができた。

課題・方向性

引き続き、保育施設入園児等に事業の周知を働きかけ利用登録を促進し、病児・病後児保育を必要とする保護者の子育て支援を図る。



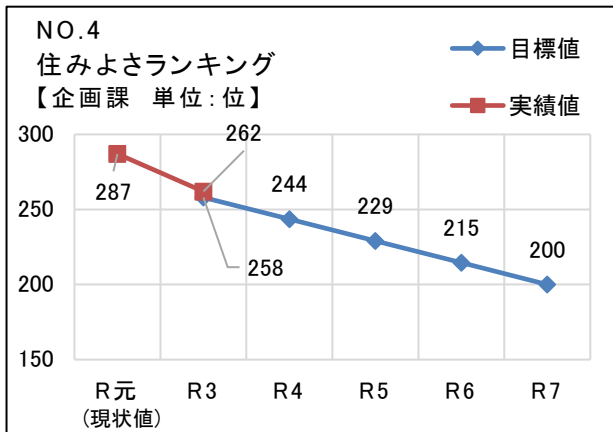
成果

新型コロナウイルス感染症予防対策として、妊娠届出や新生児訪問の面接時間を短縮したため十分な説明ができず、年々増加傾向にあった登録率が今年度は低下してしまいました。

課題・方向性

妊娠届出時や新生児訪問時等に登録勧奨を行っているが、特に妊娠中は登録の必要性や有効性を感じにくく、登録を各自でお願いすると、仕事や育児等で日々多忙な中で登録に至らない場合が多い。そのため、妊娠届出時や家庭訪問時に実際の登録作業の補助を行い、積極的な登録の勧奨を行う。

基本目標 4 人が集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる



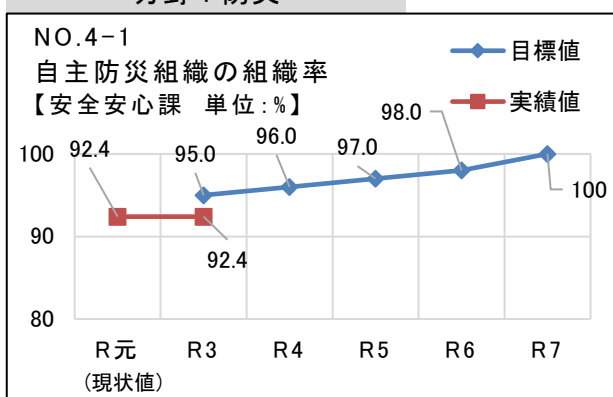
成果

県内12市中5番目の順位であった。分野別では利便度（人口当たり小売販売額、可住地面積当たり飲食料品小売事業所数等）においては12市中1位となっているが、安心度（人口当たり病院・一般診療所病床数、老年人口当たり介護老人福祉・保健施設定員数等）では最も低い順位となっている。

課題・方向性

-

分野：防災



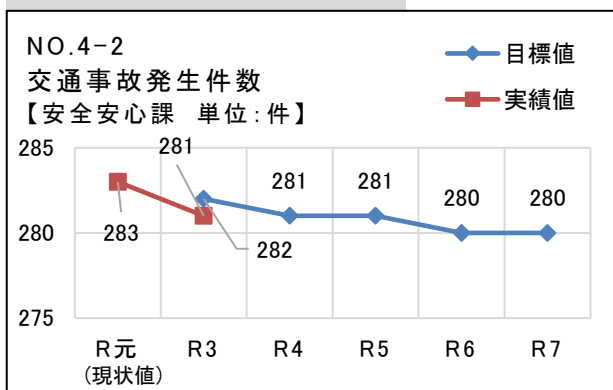
成果

なし

課題・方向性

各地区において自主的な防災活動が行われるよう、地区防災計画策定の支援を行うことなどにより、行政区による自主防災組織設置の動機づけをし、設置率の向上に努めていく。

分野：道路・交通

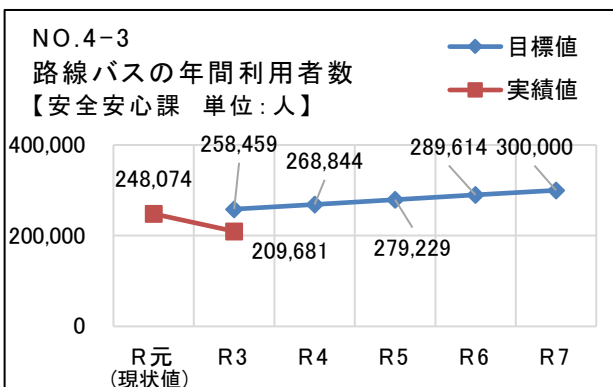


成果

交通事故防止のため、関係機関と連携し啓発活動を実施するとともに、地域要望等に基づき、交通安全施設の整備・維持に努めた。

課題・方向性

今後も引き続き関係機関と連携し啓発に取り組むとともに、交通安全施設整備の推進を図る。



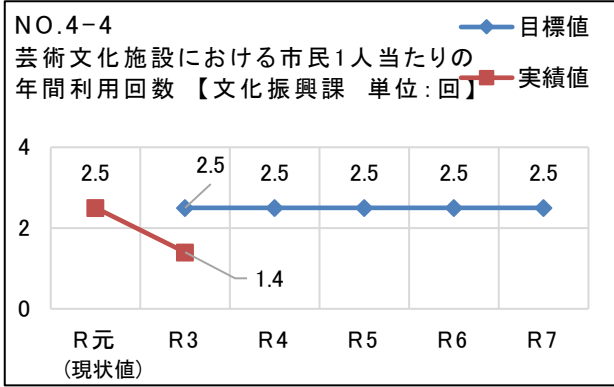
成果

館林都市圏地域公共交通計画に基づく路線再編の成果として「茂林寺巡回線」を運行開始した。利用促進事業としては、沿線高校への啓発チラシ配布をはじめ、乗り方教室の実施や、バスロケーションシステムの運用などを行った。

課題・方向性

館林都市圏地域公共交通計画に基づく各種事業を推進することにより、暮らしに寄り添う交通ネットワークの構築に取り組み、利用者数の増加を目指す。

分野：文化

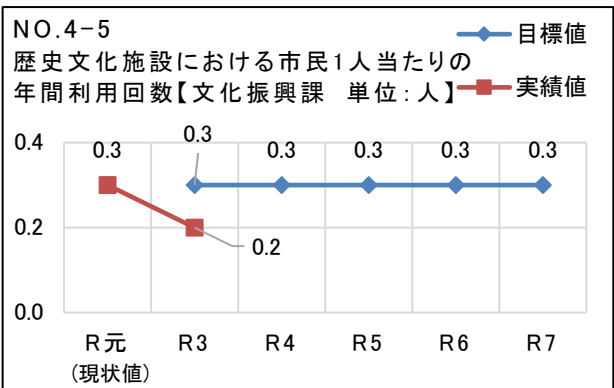


成果

緊急事態宣言等や群馬県警戒度の上昇などから利用定員を制限したことや、改修工事により一部施設の貸出を6か月間中止したことにより利用者数が減少したため、目標値に届かなかった。

課題・方向性

芸術文化活動を推進するよう、老朽化した施設の維持管理が課題であり、安全安心な施設の利用のため、施設の長寿命化を図っていく。



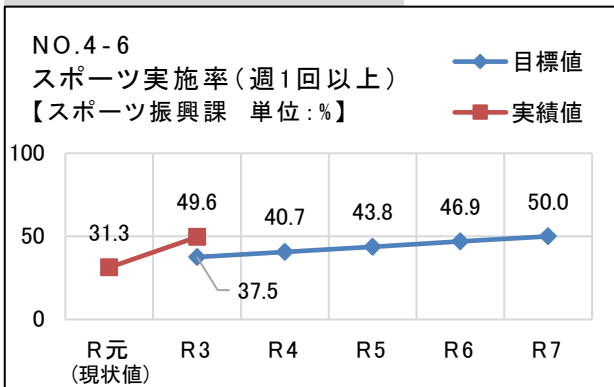
成果

1年間の大半が新型コロナウイルス感染症の拡大による緊急事態宣言等の発令下にあったため、小中学校や公民館などによる団体利用が激減し、目標値に届かなかった。

課題・方向性

更なる感染防止対策を講じて団体や遠方からの利用者を受け入れる。コロナ禍で利用者が少なくても、常に情報発信等を行い、事業のレベルを維持する。

分野：スポーツ



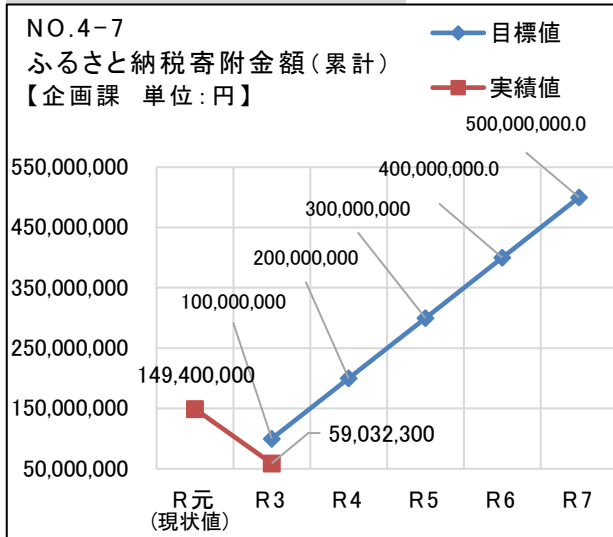
成果

過年度の実施率を含め健康志向の関心の高さや各種スポーツ事業への参加意識の向上が見られる。また、老朽化が進む各スポーツ施設の継続的な維持管理の実施によって、利用者の安全性を重視した環境整備が図られている。

課題・方向性

市民の体力の保持増進や健康志向の高まり、また地域づくりやコミュニケーション形成など、それぞれの目的に応じ取り組んでいるが、目標値には達していない状況である。今後は、市民ニーズを取り入れた各種スポーツ体験教室、家族や団体に気軽に楽しめるレクリエーション大会等を実施するほか、利便性を考慮した各スポーツ施設の改修等により、よりスポーツに取り組みやすい環境を整備し、実施率を向上させていく必要がある。

分野：行政活動



成果

既存返礼品の取扱終了等により目標を達成することは出来なかったが、新規返礼品の追加等により寄附件数が対前年度比で234%となるなど、着実に寄附の増進を図っている。

課題・方向性

課題として、これまでふるさと納税ポータルサイトを1種類しか利用しておらず、全国の幅広い寄附者層にリーチできていない状況である。

今後の方向性として、ふるさと納税ポータルサイトの追加を行い、寄附額の増加を狙う。一方で、サイトの追加に伴い事務量の増加が予想されるが、業務代行委託を行うことにより効率的かつ正確に業務を遂行する。

また、必要に応じてクラウドファンディング型ふるさと納税を実施するなど、返礼品に依存しないふるさと納税本来のあり方も併せて追求していく。

第 2 期館林市まち・ひと・しごと創生総合戦略
令和 3 年度実績報告書

館 林 市

目次

実績報告・・ P. 1

指標一覧表・・ P. 5

【グラフデータ】

基本目標 1

豊かな地域をつくとともに、安心して働けるようにする・・・・・・・・ P. 9

基本目標 2

本市とのつながりを築き、新しい人の流れをつくる・・・・・・・・ P. 12

基本目標 3

結婚・出産・子育ての希望をかなえる・・・・・・・・ P. 15

基本目標 4

人が集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる・・・ P. 18

第2期館林市まち・ひと・しごと創生総合戦略 令和3年度実績報告書

1 目的

第2期館林市まち・ひと・しごと創生総合戦略において設定した成果指標及びKPIの実績を把握するとともに、成果や課題と方向性を整理することにより、総合戦略の推進に役立てるものです。

2 結果

各課から報告された令和3年度実績結果を取りまとめました。指標の目標値に対する結果は次表のとおりです。

(1) **指標達成率 51.6%** ※進捗率 A・B (80%以上) となった指標の割合

基本目標	全指標数	令和3年度						指標進捗率 (A・B)
		対象指標数	A	B	C	D	-	
1 豊かな地域をつくとともに、安心して働けるようにする	12	8	3	1	1	3	4	50.0%
2 本市とのつながりを築き、新しい人の流れをつくる	10	10	6	2	0	2	0	80.0%
3 結婚・出産・子育ての希望をかなえる	7	5	1	0	0	4	2	20.0%
4 人が集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる	8	8	2	1	3	2	0	37.5%
計	37	31	12	4	4	11	6	51.6%

※調査の対象年度でないものは- (ハイフン) としました。

(2) 実績に対する分析

① 指標について

各指標は、令和元年度時点の数値（現状値）及び令和7年度時点の数値（目標値）を設定し、原則毎年度報告される実績値により、総合戦略が着実に実施されているか進捗状況を測定するものです。

なお、毎年度の評価については、現状値と目標値から案分した年次目標値を設定し、年次目標値に対して実績値がどうであったかを評価します。

※ただし、指標の性格上、特定の年度にのみ目標値を設定しているものや、規則的な案分値でないものもあります（各所管課において年次目標値の考え方が存在する場合等）。

② 評価方法

第2期総合戦略における全37指標中、出典元となる統計調査等の集計年次でなかった指標等6指標を除く、計31指標について評価を実施しました。

評価に当たっては、まず次のいずれかの計算式により各指標の進捗率を算出しました。

$$\left[\begin{array}{l} \text{ア (実績値-現状値) / (年次目標値-現状値)} \\ \text{イ 実績値/年次目標値 ※指標が計画期間5か年の累計値の場合} \end{array} \right]$$

次に、上記の計算式によって得られた進捗率について、次のように4段階の評価を行いました。

100%以上の進捗率	A
80%以上～100%未満の進捗率	B
50%以上～80%未満の進捗率	C
50%未満の進捗率	D

さらに、A・B判定については現状値から順調に推移したものとして判断し、「達成」として取り扱いました。基本目標ごとに「達成」となった指標の個数を数え、達成率を算出しています。

③ 全体分析

・進捗率の水準が相対的に高い基本目標は、「基本目標2 本市とのつながりを築き、新しい人の流れをつくる」で、80.0%でした。関連する成果指標は、「社会増減数」があり、年次目標値が-22人に対して実績値が+70人となり、A判定となっています。

・進捗率の水準が相対的に低い基本目的は、「基本目標3 結婚・出産・子育ての希望をかなえる」で、20.0%でした。関連する成果指標は、「合計特殊出生率」、「婚姻数」がありますが、現時点では令和3年度の実績値が公表されていません。

・指標によっては、新型コロナウイルスの影響で数値が現状値（令和元年度）より大幅に低下してしまったものがあります。

④ 個別分析

「基本目標1 豊かな地域をつくとともに、安心して働けるようにする」

【関連分野】産業、商業、労働環境、農業

基本目標1の達成率は50.0%となっています。

分野別進捗状況がD判定の分野としては、産業に関する分野が挙げられます。実績として、企業立地及び設備投資件数が0件となっていますが、これは企業が立地する空き用地が無いことが大きな理由となっており、改善の取組が求められています。

一方で、分野別進捗状況がA判定の分野としては、農業に関する分野が挙げられます。

この分野では、農地利用の最適化の促進により、担い手の農地利用集積状況が年度目標値を上回っています。

【A判定の指標（主なもの）】

- ・遊休不動産の利活用件数

【D判定の指標（主なもの）】

- ・農業産出額

「基本目標2 本市とのつながりを築き、新しい人の流れをつくる」

【関連分野】 観光、まちなのにぎわい、情報の共有

基本目的2の達成率は80.0%であり、4つの基本目標の中では最も高い進捗率となっています。

分野別進捗状況がD判定の分野としては、観光に関する分野が挙げられます。これは新型コロナウイルス感染症の影響により、各種イベント等が中止になったことが大きな要因と考えられます。

一方で、分野別進捗状況がA判定の分野としては、情報共有、まちなのにぎわい（移住定住関連）に関する分野が挙げられます。情報共有に関する分野では、感染症に関連する情報を求めるかたが多かったことから、ホームページへのアクセス数やSNSのフォロワー数が増えています。

【A判定の指標（主なもの）】

- ・東京都でのPR活動回数

【D判定の指標（主なもの）】

- ・観光入込客数
- ・観光ボランティアガイドの登録者数

「基本目標3 結婚・出産・子育ての希望をかなえる」

【関連分野】 関連分野：まちなのにぎわい、子育て

基本目標3の達成率は20.0%であり、4つの基本目標の中では最も低い進捗率となっています。

分野別進捗状況がD判定の分野としては、まちなのにぎわい（婚活関連）に関する分野が挙げられます。婚活関連事業については、これまで対面によるイベント等が主流となっていたため、新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けています。

また、子育てに関する分野では、分野別進捗状況はCとなっていますが、病児・病後児保育事業の登録者数は基準年度と比較して大幅に増えており、急病時に対応を必要とする保護者の支援を推進することができました。

【A判定の指標（主なもの）】

- ・病児・病後児保育事業の登録者数

【D判定の指標（主なもの）】

- ・市の支援による婚活イベント参加者数
- ・市の支援による婚活事業でのカップル成立数
- ・ファミリーサポートセンターの延べ登録者数
- ・子育て支援モバイルサービス登録率

「基本目標4 人が集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる」

【関連分野】 関連分野：防災、道路・交通、文化、スポーツ、行政活動

基本目標4の達成率は25.0%となっています。

分野別進捗状況がD判定の分野としては防災分野が挙げられます。地区防災計画策定の支援を行うなど自主防災組織の設置に努めたものの、設置率は現状維持となりました。

一方で、分野別進捗状況がA判定の分野としては、スポーツ分野が挙げられます。この分野では、市民のスポーツ実施率が大きく伸びており、健康志向の高まりやスポーツ事業への参加意識の向上が見られました。

【A判定の指標（主なもの）】

- ・交通事故発生件数

【D判定の指標（主なもの）】

- ・路線バスの年間利用者数

3 今後の予定及び対応

外部有識者の委員で構成している館林市まち・ひと・しごと総合戦略検証委員会を開催し、KPIにより総合戦略の進捗状況を検証するとともに、その結果を事業実施課へフィードバックし、事務事業の改善に努めます。